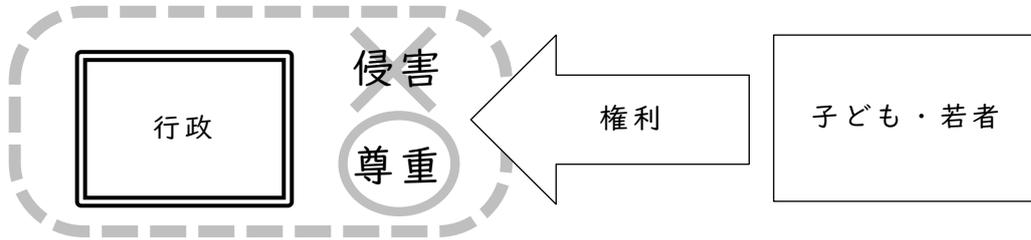


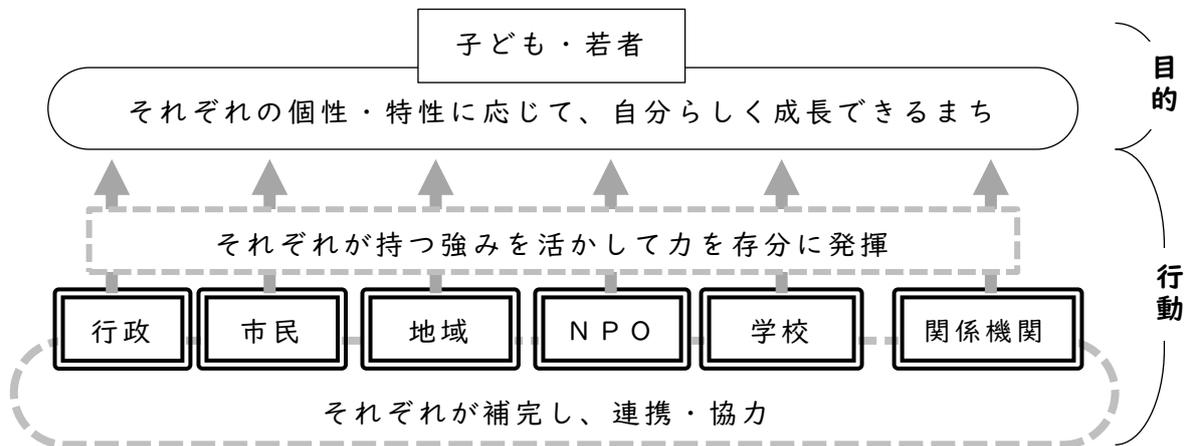
本条例の意義・位置づけについて

I 本条例の意義

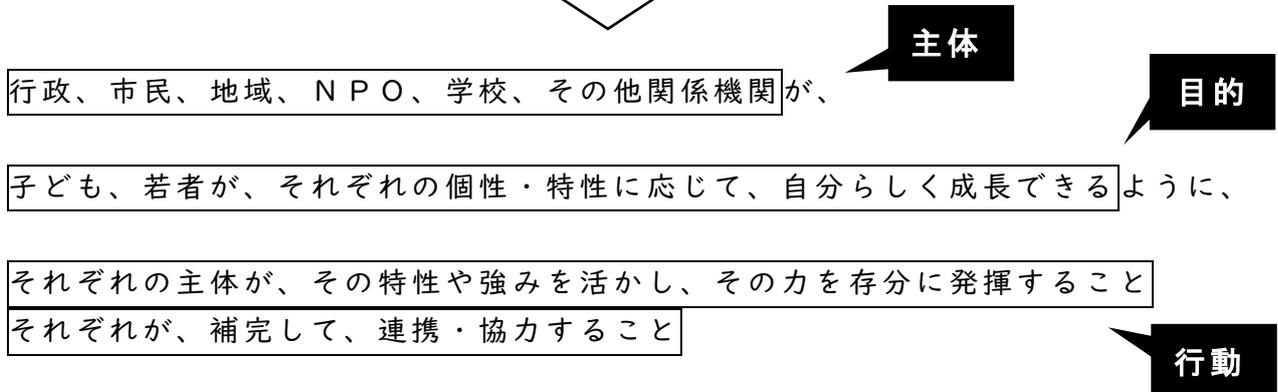
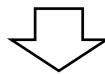
(1) 行政が、子ども・若者の権利を侵害しないよう、制約をかけること



(2) 行政、市民、地域、NPO、学校、その他関係機関が、
「子ども、若者が、それぞれの個性・特性に応じて、
自分らしく成長できるまちをつくる条例」（＝まちづくり条例）であること。



※ 行政が、さらなる福祉サービスを提供することが主たる眼目ではない



⇒ 本条例は、そのための ○理念・考え方
○施策・手法
○組織・体制 を定めるもの。

2 条例の位置づけ

条例：長期間にわたって定める。

- 理念・考え方
- 施策・手法
- 組織・体制

本検討委員会で検討する範囲

計画：社会・経済情勢等の変化に合わせて、定期的に見直しを行う。

※ 多摩市子ども・子育て・若者プラン
(第2期多摩市子ども・子育て支援事業計画)は、5年間の計画

- 計画期間における、基本理念、基本方針、基本施策、事業 など

事業：毎年度の予算の範囲内で実施する個別具体的な事業。